

令和2年度石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅲ期）

「学習指導の改善を図る研修会」

石巻市教育委員会

第5回、第6回研修会

- 日時 令和3年2月15日（月）、16日（火）
9：30～16：40
- 場所 各学校（ZOOMミーティング）
- 講師 広島大学大学院教育学研究科
附属教育実践総合センター長 栗原慎二 教授



画面上ではありましたが、久しぶりにお会いできました。

☆研修内容

- 15日午前：不登校・学校不適應行動【対象：生徒指導主事、いじめ・不登校対策担当者】
 - 15日午後：アセス（学級と児童生徒個人のアセスメントソフト）の活用
 - 16日午前：協同学習（良好な関わり合いをもとにした学習）
 - 16日午後：プログラムマネジメント
- 15日午後～16日【対象：MLA校内リーダー、研究主任等対象】

「学習指導の改善を図る研修会」は、石巻市が平成27年度から取り組んでいる教員の資質向上プログラムで、本年度は14回を予定しておりました。ところが、新型コロナウイルスの感染拡大防止による学校の休業や夏休みの短縮、講師在住地区の感染状況等でやむなく中止を重ねてきました。そこで、今年度最後となる2月の研修は何としても実施できるよう、石巻市で初めてのオンライン研修を実施しました。

各校と市教委で事前に接続テストを行ったことで、当日は大きな混乱もなく、広島県の講師と石巻市の全小・中学校がPC上でつながり、研修が深まりました。

石巻市の教員は『マルチレベルアプローチ（MLA）』の理論をもとに、児童生徒の自尊感情を高めたり、コミュニケーション能力を高めたりする支援を全ての子供に提供する指導力の向上を目指し、研修を積んでいます。各校の具体的な取組については、ぜひ、学校のおたよりやWebページをご覧ください。

<受講者の声>

- ◇ミドルリーダーの役割について参考になった。リーダーに求められるものについて考えながら学校の取組を推進していきたい。
- ◇発達障害を持った児童生徒の困り感を学級で共有し、個に応じたCheck-In Check-Outの手法を取り入れて成長支援を行っていきたい。
- ◇児童生徒にとっても、教員にとっても振り返る力が重要だということが分かった。（メタ認知）
- ◇オンライン研修は途中音声聞き取りにくい等の不具合があったが、じっくりとグループ討議ができたり、チャット欄を活用して具体的なアイデアを共有できたりしてオンラインならではのよさも感じる事ができ、有意義であった。